

大阪高等学校体育連盟バスケットボール専門部 ユニフォーム規定

1. ユニフォームは全てのチームメンバーが同じデザイン（形状、色および模様）のものを着用しなければならない。色や模様の違うものは認められない。リバーシブルのユニフォームは、大阪高体連主催の大会でのみ認める。
2. シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない。
3. 大阪高体連主催の新人大会においてのみ、防寒のためにシャツの下に半袖シャツの着用を認める。なお、着用する場合はユニフォームと同色（濃色の場合は黒色でも可）で、形は全員同じものとする。また、着用しない者がいてもかまわない。
4. パンツはシャツと同様の色で、原則ひざが見える丈のものを穿くこと。
5. ソックスはユニフォームと異なる色でも良いが、全てのチームメンバーが同じ色であり、特に長さの指定はしないが、シューズから見える状態でなければならない（努力目標）。
6. 他のプレーヤーにケガをさせる可能性があるものを着用してはならない。
 - ・身につけてはならないもの：
柔らかいパッドで覆われていても、指、手、手首、肘や前腕の防具、ヘルメット、固定具や支持具で、皮革、プラスチック、金属、その他硬い素材で作られているもの。ヘアアクセサリーや貴金属類。
 - ・身につけても差し支えないもの：
十分にパッドで覆われた肩、腕、脚の防具、腕や足のサポーター、ヘッドギア（他のプレーヤーに危険ではないもの）、鼻のプロテクター（硬い素材でもよい）、マウスピース（無色透明）、眼鏡、リストバンドやヘッドバンド（最大10cm幅で繊維素材のもの）、テーピング等
7. ユニフォームの色は組み合わせの上位（番号の小さい方）チームが白色、下位（番号の大きい方）チームが濃色とする。
8. 合同チームのユニフォームについては白色統一ではなく、規定通りの色のものを着用すること。ただし、濃色の場合は統一することが望ましいが、各学校の色のものを着用することも可。なお、統廃合校（機能統合）によるチームは合同チームとみなさないため、ユニフォームは通常の色となる。
9. ユニフォームの選手番号はシャツの前面および背面に付けなければならない。番号は「0」、「00」、「1」、「2」…「99」までの番号を用いる（01や02などの数字は不可）。なお、パンツに選手番号を付けることは規定の範囲内で可能である。
10. ユニフォームに付けることができるものは次のとおりである。また、その位置、サイズおよびデザインは、全てのチームメンバーで統一しなければならない。
 - ・チーム名、チームロゴ、製造メーカーロゴ、都道府県・都市・地域名、チームメンバー名、
広告（ただし専門委員長の許可を必要とする）。詳細についてはJBAユニフォーム規定参照。
11. 上記以外の項目は最新版「JBAユニフォーム規則」に則る。